

「第 59 回構造工学シンポジウム」

土木部門プログラム

1. 主催 — 日本学術会議 土木工学・建築学委員会, 土木学会, 日本建築学会
2. 開催日 — 2013 年 4 月 20 日 (土) — 21 日 (日)
3. 会場 — 東京工業大学大岡山キャンパス西 9 号館 (〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1)
4. 参加費 — 無料, 事前申し込み不要
5. 開会式
日時: 2013 年 4 月 20 日 (土) 15:00~15:10
会場: 東京工業大学 大岡山キャンパス西 9 号館デジタル多目的ホール
挨拶: 和田章 (日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長)
挨拶: 吹田啓一郎 (日本建築学会構造工学論文集編集小委員会主査・京都大学)
司会: 舘石和雄 (土木学会構造工学論文集編集小委員会委員長・名古屋大学)
6. 特別講演会
日時: 2013 年 4 月 20 日 (土) 15:10~16:10
会場: 東京工業大学 大岡山キャンパス西 9 号館デジタル多目的ホール
講師: 依田照彦 (日本学術会議土木工学・建築学委員会幹事・早稲田大学)
題目: 構造解析のシミュレーションに期待すること
司会: 舘石和雄
7. 土木・建築合同パネルディスカッション
「シミュレーション及び実験の大規模化の現状と今後の展開」
日時: 2013 年 4 月 20 日 (土) 16:15~18:15
会場: 東京工業大学大岡山キャンパス西 9 号館デジタル多目的ホール
主旨説明: 中畑和之 (土木学会構造工学論文集編集小委員会幹事長・愛媛大学)
パネリスト: 市村 強 (東京大学)
高橋良和 (日本学術会議若手アカデミー委員会幹事・京都大学)
多田元英 (大阪大学)
宮澤健二 (工学院大学名誉教授)
司会: 中畑和之 (前掲)
稲山正弘 (日本建築学会構造工学論文集編集小委員会幹事・東京大学)
8. 懇親会 (交流会)
日時: 2013 年 4 月 20 日 (土) 18:30~20:00 (予定)
場所: 東京工業大学大岡山キャンパス 100 周年記念館「角笛」
会費: 4,000 円程度を予定 (当日会場でお支払いください。)
詳しくはシンポジウム受付時にお渡しする予定の案内をご覧ください。
事前申し込みは必要ございません。
9. 構造工学論文集 Vol.59A の販売
受付にて販売いたします。郵送も承ります。定価 6,000 円 (送料別)
10. 問い合わせ先 (事務局) — 土木学会研究事業課 増永克也
(TEL 03-3355-3559, E-mail: masunaga@jsce.or.jp)
※ 講演会 (IABSE 日本支部後援): シンポジウム後, 次のような講演も開催されますので,
併せてご案内いたします。
日時: 2013 年 4 月 21 日 (日) 14 時 50 分~15 時 50 分
場所: 東京工業大学大岡山キャンパス西 9 号館コラボレーションルーム
講演: Mike Schlaich 教授 (ベルリン工科大学) 「シェルと橋梁に見る軽量構造の歴史と今後の発展」
参加費: 無料

土木部門プログラム(建物は東京工業大学大岡山キャンパス・西9号館)

	第1会場(W935)	第2会場(W934)	第3会場 (コラボレーションルーム)	第4会場(W933)
4月20日 (土)		流体関連振動 ・風工学(1) 9:30~10:30 座長:松田一俊		
	衝撃問題(1) 10:45~12:00 座長:別府万寿博	流体関連振動 ・風工学(2) 10:45~12:00 座長:八木知己	振動・振動制御(1) 10:15~12:00 座長:長山智則	構造安定・耐荷力(1) 10:15~12:00 座長:鈴木森晶
	休憩 12:00~13:15			
	衝撃問題(2) 13:15~14:30 座長:今野久志	鋼・木構造 13:15~14:45 座長:小室雅人	振動・振動制御(2) +橋梁制震・免震 13:15~14:45 座長:小幡卓司	構造安定・耐荷力(2) 13:15~14:45 座長:松村政秀
	開会式 15:00~15:10			
	特別講演会 15:10~16:10			
	パネルディスカッション 16:15~18:15			
	交流会 18:30~20:00			
4月21日 (日)	設計工学 9:30~10:30 座長:廣瀬彰則	合成・複合構造 9:15~10:30 座長:大山 理	地震工学+地中構 造・基礎構造 9:30~10:15 座長:三神 厚	コンクリート構造(1) 9:30~10:30 座長:佐藤靖彦
	橋梁床版(1) 10:45~12:00 座長:東山浩士	維持管理(1) 10:45~12:00 座長:内田大介	橋梁耐震(1) 10:45~12:00 座長:高橋良和	コンクリート構造(2) 10:45~11:45 座長:中村 光
	休憩 12:00~13:15			
	橋梁床版(2) 13:15~14:45 座長:上條 崇	維持管理(2) 13:15~14:45 座長:貝沼重信	橋梁耐震(2) 13:15~14:45 座長:幸左賢二	構造力学・構造工学 一般+計算力学・材 料力学 13:15~14:45 座長:水澤富作, 紅露 一寛
	講演会(IABSE日本支部後援), Mike Schlaich教授(ベルリン工科大学) 「シェルと橋梁に見る軽量構造の歴史と今後の発展」 14:50~15:50			
第3回構造工学論文集編集小委員会 16:00~17:00				

第1日：4月20日（土）

第1会場：西9号館 W935 号室

10:45～12:00 衝撃問題(1)

座長：別府 万寿博（防衛大学校）

- (15-1) 敷砂緩衝材の緩衝特性に関する大型重錘落下衝撃実験
○山口悟・今野久志・西弘明・小室雅人・岸徳光
- (15-2) 敷砂厚の異なる敷砂緩衝材の実規模重錘落下衝撃実験と衝撃応答解析
○今野久志・山口悟・西弘明・武田雅弘・岸徳光
- (15-3) ソイルセメント・ジオグリッド・EPS から成る三層構造の静載荷実験
○栗橋祐介・牛渡裕二・川瀬良司・中野雄哉・岸徳光
- (15-4) ソイルセメントを用いた三層緩衝構造を設置した落石防護擁壁模型に関する重錘衝突実験
牛渡裕二・栗橋祐介・前田健一・○鈴木健太郎・岸徳光
- (15-5) RC 製ロックシェッドに関するファイバー要素を用いた三次元骨組動的応答解析法の適用性検討
○牛渡裕二・今野久志・小室雅人・保木和弘・岸徳光

13:15～14:30 衝撃問題(2)

座長：今野 久志（土木研究所寒地土木研究所）

- (15-6) An experimental study on the dynamic characteristics of steel beams using sand cushion subjected to falling weight
○Tam Sy Ho・Hiroshi Masuya
- (15-7) 支持条件と版厚を変化させた RC 版の重錘落下衝撃実験と耐衝撃設計法の提案
岸徳光・○三上浩・栗橋祐介
- (15-8) 超高強度および補強コンクリート板の局部破壊評価に関する基礎的検討
○別府万寿博・武藤聡明・高橋順
- (15-9) 接触・近接爆発に対する SS400 鋼板の貫通限界厚さの推定
○大野友則・橋本進・中村弘
- (15-10) 急勾配水路実験による流体衝撃力特性に関する基礎的研究
○金子鉄兵・別府万寿博・香月智

第1日：4月20日（土）

第2会場：西9号館 W934 号室

9:30～10:30 流体関連振動・風工学(1)

座長：松田 一俊（九州工業大学）

- (9-1) 矩形断面のギャロッピング不安定性と渦放出の関係について
○八木知己・新庄皓平・成田周平・中瀬友之・白土博通
- (9-2) 相間スペーサの設置された単導体送電線のギャロッピング特性の検討
○坂口剛・松宮央登・清水幹夫
- (9-3) モード重ね合わせ法を用いた送電線のギャロッピングの時刻歴応答解析
○松宮央登・坂口剛・西原崇・雪野昭寛
- (9-4) 海塩粒子付着量の予測精度向上に関する基礎的研究
○野口恭平・姜詠・奥田慧・倉田直弥・白土博通・八木知己・森下尊久・田中雄三

10:45～12:00 流体関連振動・風工学(2)

座長：八木 知己（京都大学）

- (9-5) 形鋼を用いた吊橋桁構造の簡素化に関する検討
○山崎伸介・山田均・勝地弘・塩月浄志
- (9-6) Numerical simulation for effects of wind turbulence on flow field around rectangular cylinder
○Md. Naimul Haque・Hiroshi Katsuchi・Hitoshi Yamada・Mayuko Nishio
- (9-7) LES による等方性乱流場における変動空気力の空間相関評価に関する検討
○伊藤靖晃・白土博通・野澤剛二郎
- (9-8) Study on turbulence effects on flow fields around sharp-edged bluff bodies
○Panpipat Sangchuwong・Hitoshi Yamada・Hiroshi Katsuchi
- (9-9) 鋼棒切断加振法を用いた実用テナゲート E の動的安全性確認
○阿南景子・石井徳章・辻琢磨・奥達也・中村雅志・Charles W. Knisely

13:15~14:45 鋼・木構造

座長：小室 雅人(室蘭工業大学)

- (11-1) 交通渋滞時の2車線道路橋の疲労設計荷重・同時載荷係数の検討 ○森猛・秋山慎一郎
- (11-2) 既設鋼床版に対する下面補強工法である鋼板補強モルタル充填併用工法の構造合理化の検討
○丹波寛夫・木村聡・山口隆司・杉山裕樹・田畑晶子・高田佳彦
- (11-3) 閉断面リブを有する鋼床版の横リブスリット部の局部応力特性○判治剛・加藤啓都・館石和雄・崔誠珉・平山繁幸
- (11-4) 点検技術研さん用の鋼I桁に疲労き裂を導入する試み ○山田健太郎・織田博孝
- (11-5) 当て板接着補修されたき裂を有する鋼板の応力拡大係数 ○松本理佐・石川敏之・服部篤史・河野広隆
- (11-6) 皿型高力ボルトを用いた摩擦接合の継手特性に関する研究 ○田畑晶子・金治英貞・黒野佳秀・山口隆司

第1日：4月20日(土)

第3会場：西9号館 コラボレーションルーム

10:15~12:00 振動・振動制御(1)

座長：長山 智則(東京大学)

- (5-1) 異なる振動レベルにおける模型橋梁の振動特性の変化に関する基礎実験
○齋藤拓哉・中島章典・竹嶋竜司・Reem Al Schnawi
- (5-2) 跨座型モノレールPC桁高架橋の交通振動実測
小野和行・川谷充郎・金哲佑・○延命卓哉・柏木栄一・岡重嘉泰
- (5-3) 首都高速道路高架橋における走行車両による交通振動計測とその解析
蘇迪・○三輪陽彦・藤野陽三・長山智則
- (5-4) Three-dimensional numerical analysis on site vibration around Shinkansen viaducts under high-speed running bullet train
○Xingwen He・Mitsuo Kawatani・Toshiro Hayashikawa・Takashi Matsumoto
- (5-5) 鉄道トンネルの列車振動を活用した変状進展度の評価に関する検討
○瀬下雄一・津野究・加藤拓也・小島芳之・杉山俊幸
- (5-6) 局部加振法による梁部材の微小欠陥検出に関する数値解析
宮森保紀・大島俊之・三上修一・山崎智之・○高橋徹
- (5-7) 車両応答データの特異値分解による橋梁損傷検知技術の提案と検討
○山本亨輔・大島義信・金哲佑・杉浦邦征

13:15~14:45 振動・振動制御(2)／橋梁制震・免震座長：小幡 卓司(大阪府立大学工業高等専門学校)

- (5-8) パワースペクトルを用いた鉛直歩行外力の算定とその高次成分の評価 ○米田昌弘
- (5-9) 実理理論による近接固有値を有する構造物の振動特性推定
○小松正貴・奥松俊博・岡林隆敏・下妻達也・深田宰史
- (8-1) 超弾性合金と超塑性合金からなる自己修復型複合構造ダンパー
後藤芳顕・○海老澤健正・和田廣人・松澤陽
- (5-10) 並進と振れ振動を行う2自由度系構造物に設置した同調系ダンパーの最適動特性値 ○高西照彦
- (5-11) Free vibration analysis of a model structure with new tuned cradle mass damper
○Amonphan Jitjindakun・Witsanu Munfak・Yoji Shimazaki
- (5-12) モーダルフィルタリングに基づく平板打撃振動のアクティブ制御におけるセンサ配置の決定法
○塩見謙介・五十嵐晃・山田博・可知孝啓・近藤光由・高田友和

第1日：4月20日(土)

第4会場：西9号館 W933号室

10:15~12:00 構造安定・耐荷力(1)

座長：鈴木 森晶(愛知工業大学)

- (2-1) 鉛直局部荷重を受ける鋼桁腹板の安定照査法に関する一提案 ○野上邦栄・平山博・清水茂・古田富保
- (2-2) SBHSを用いた鋼I桁の耐荷力特性に関する実験的研究
○野阪克義・奥井義昭・小室雅人・宮下剛・野上邦栄・長井正嗣
- (2-3) 腐食した鋼I桁の支点部耐力に関する考察 ○山口栄輝・赤木利彰

- (2-4) 地震動により損傷した栈橋 RC 上部工の残存性能 ○川端雄一郎・岩波光保・加藤絵万・西田孝弘
- (2-5) 既設ラジアルゲートの耐荷力解析の精度向上と維持管理用解析モデルに関する検討 ○中村秀治・河内友一
- (2-6) 基礎変位鉄塔の残留変形および残留応力低減のための部材交換手順に関する解析的検討
○中村秀治・大野木亮太・三上康朗・山崎智之・本郷榮次郎
- (2-7) ボルト滑りを考慮し応力測定値との整合に留意した基礎変位鉄塔の実用的耐荷力解析法について
○山崎智之・本郷榮次郎・中村秀治

13:15~14:45 構造安定・耐荷力(2)

座長：松村 政秀（大阪市立大学）

- (2-8) 模擬腐食を導入した鋼トラス橋斜材の残存圧縮耐荷力
○山沢哲也・野上邦栄・小峰翔一・依田照彦・笠野英行・村越潤・遠山直樹・澤田守・有村健太郎・郭路
- (2-9) 腐食劣化の生じた鋼トラス橋格点部の圧縮耐荷力に着目した載荷試験
村越潤・遠山直樹・○澤田守・有村健太郎・郭路・依田照彦・笠野英行・野上邦栄
- (2-10) ガセットプレートを考慮したトラス橋圧縮部材の終局強度と変形に関する研究
松村政秀・○吉山純平・山口隆司
- (2-11) 既設鋼トラス橋の部材破断による衝撃係数および応力再分配の実測 橋本国太郎・○中村衣里・杉浦邦征
- (2-12) 偏心圧縮力を受ける鋼管柱への高弾性 CFRP 補強効果に関する研究
松村政秀・○幸田真也・久部修弘・山口隆司
- (2-13) 座屈強度と終局強度を考慮した突起付きアルミニウム合金板の断面形状 ○西森文子・大倉一郎

第2日：4月21日（日）

第1会場：西9号館W935号室

9:30～10:30 設計工学

座長：廣瀬 彰則（エイト日本技術開発）

- (4-1) 資源ストックを考慮した橋梁の地球温暖化環境負荷の評価方法に関する研究
○小幡卓司・九里将太郎・中西宏貴・小田輝・新納格
- (4-2) 地方公共団体のBMSの現実的問題設定とGAによる最適化に関する研究
○澁谷直隆・杉本博之
- (4-3) 道路ネットワークを考慮した道路構造物耐震補強の優先順位設定におけるゲーム理論の適用
○喜多敏春・近田康夫
- (4-4) インテグラルアバット橋に適したアプローチスラブの研究
○岩崎信正・新平信幸・竹原和夫・大山理・栗田章光

10:45～12:00 橋梁床版(1)

座長：東山 浩士（近畿大学）

- (16-1) 二方向アラミト繊維シート補強床版の界面剥離に関する数値解析
○三上浩・高島輝雄・廣瀬清泰・堀川都志雄
- (16-2) CFS 接着補強 RC 床版の耐疲労性の評価およびS-N 曲線式の提案
○元燦豪・阿部忠・高野真希子・小森篤也
- (16-3) RC 床版のSFRC 上面増厚補強法における接着剤が耐疲労性に及ぼす影響
○阿部忠・鈴木寛久・貴志豊・野本克己
- (16-4) 道路橋 RC 床版の部分打換補強法における耐疲労性の評価
○伊藤清志・阿部忠・菅野幹男・児玉孝喜
- (16-5) 疲労損傷を受けた RC 床版の一次・二次補強法における耐疲労性の評価
阿部忠・○水口和彦・元燦豪・川井豊

13:15～14:45 橋梁床版(2)

座長：上條 崇（横河住金ブリッジ）

- (16-6) 床版防水工における水分計の適用性に関する研究
谷倉泉・○榎園正義・後藤昭彦
- (16-7) 繰返し移動荷重を受ける鋼板接着補強された鉄筋コンクリート床版の挙動
○田中良樹・村越潤
- (16-8) 既設鋼床版のSFRC 舗装による応力低減効果と破壊性状に関する検討
○石井博典・井口進・春日井俊博・村越潤・梁取直樹
- (16-9) FRP を用いた既設 RC 床版の拡幅工法に関する基礎的研究
○角間恒・三田村浩・岡田慎哉・表真也・松井繁之
- (16-10) 赤外線サーモグラフィを用いた鋼・コンクリート合成床版の非破壊検査手法に関する研究
○水野浩・和泉遊以・阪上隆英・松井繁之・杉山俊幸
- (16-11) 多点同時計測による橋梁床版の動的挙動の3次元可視化と歩道橋における実験的検証
○川原正人・中畑和之・大賀水田生

第2日：4月21日（日）

第2会場：西9号館W934号室

9:15～10:30 合成・複合構造

座長：大山 理（大阪工業大学）

- (13-1) 複合構造物を活用した既設鉄道 RC 高架橋のリニューアル手法に関する基礎的研究
○上村寿志・斉藤雅充・谷口望・北川淳一・西村昌宏・依田照彦・桜井淳
- (13-2) 橋軸方向にジャッキダウンプレストレスされたプレキャスト PC 床版の長期経時挙動について
○江頭慶三・田畑晶子・松井繁之・栗田章光
- (13-3) FRP を用いた橋梁用伸縮装置の耐荷力と摩耗に関する実験的研究
○久保圭吾・今村壮宏・芦塚憲一郎・福永靖雄・山口浩平・日野伸一
- (13-4) 床版橋形式 GFRP 歩道橋のリベット接合と接着接合を併用した連結構造の開発
○北山暢彦・前田研一・中村一史・渡邊哲也・瀬戸内秀規
- (13-5) 円孔を有する GFRP 板の引張耐荷挙動および GFRP 孔あきジベルの引抜き耐荷挙動
○山口浩平・久保圭吾・日野伸一・今村壮宏・芦塚憲一郎・福永靖雄

10:45~12:00 維持管理(1)

座長：内田 大介（三井造船）

- (10-1) 片面当て板接着補修された断面欠損を有する鋼部材の曲げ応力性状
○青木康素・坂野亮太・石川敏之・河野広隆・足立幸郎
- (10-2) 養生時に高温を受けた当て板接着鋼板のはく離強度
○坂野亮太・青木康素・石川敏之・河野広隆・足立幸郎
- (10-3) すみ肉溶接継手の溶接止端に発生した疲労き裂の ICR 処理による補修・補強
○柿市拓巳・石川敏之・山田健太郎
- (10-4) 振動応答予測モデルを用いた橋梁構造物の損傷検知手法に関する研究
○服部洋・松山卓真・白土博通・八木知己・岡野雅
- (10-5) 回転式打音検査の欠陥検出能力に関する定量的評価
○園田佳巨・渡邊達郎

13:15~14:45 維持管理(2)

座長：貝沼 重信（九州大学）

- (10-6) 腐食性の高い環境下に架設された鋼鉄道橋の腐食状態調査
○坂本達朗・鈴木実・間々田祥吾
- (10-7) 約 100 年間供用された橋梁のリベット継手の残存強度試験
○佐竹亮一・藤井堅・小迫伸聡・山下泰勲・海田辰将
- (10-8) 腐食鋼部材の残存板厚計測への各種計測技術の適用性の検討
村越潤・○高橋実・飯塚拓英・小野秀一
- (10-9) 腐食劣化した高力ボルトの残存軸力評価に関する研究
下里哲弘・○田井政行・有住康則・矢吹哲哉・長嶺由智
- (10-10) 腐食劣化の生じた鋼トラス橋の現地載荷試験と耐荷性能評価に関する検討
村越潤・○有村健太郎・澤田守・遠山直樹・依田照彦・野上邦栄・笠野英行
- (10-11) 海水中環境を模擬した腐食促進実験による鋼溶接部の腐食劣化特性に関する基礎的研究
○竹見潤也・廣畑幹人・北根安雄・伊藤義人

第2日：4月21日（日）

第3会場：西9号館 コラボレーションルーム

9:30~10:15 地震工学／地中構造・基礎構造

座長：三神 厚（徳島大学）

- (6-1) スーパーアスペリティモデルと経験的サイト増幅・位相特性を考慮した 2011 年東北地方太平洋沖地震における岩切線路橋での地震動の評価
○秦吉弥・高橋良和・後藤浩之・野津厚
- (6-2) 木造建物の解体を考慮した東京都の災害廃棄物量の予測
川口裕樹・武田正紀・○丸山喜久
- (14-1) 塩化ビニル管と螺旋状 FRP を用いた中口径下水道更生管に関する基礎的研究
清野純史・古川愛子・○坂田賢亮・Freddy Duran

10:45~12:00 橋梁耐震(1)

座長：高橋 良和（京都大学）

- (7-1) 地震被害を受けた長大橋への津波による大型漂流物の衝突に関する解析的アプローチ
○馬越一也・葛漢彬・野中哲也・本橋英樹・原田隆典・宇佐美勉
- (7-2) 桁抵抗力津波作用力比に基づく橋梁の被害分析
○佐々木達生・幸左賢二・鄭玉龍
- (7-3) Tsunami damage evaluation of Utatsu Bridge by video and 2-D simulation analyses
○Li Fu・Kenji Kosa・Tatsuo Sasaki
- (7-4) Tsunami damage analysis for bridges in Shizugawa area
○Yulong Zheng・Kenji Kosa・Tatsuo Sasaki
- (7-5) I 桁橋に対する津波波力特性の数値解析的検討
○坂本佳子・原田隆典・野中哲也・吉野廣一・鳥越卓志
- (7-6) Damage assessment-based dynamic analysis of a RC rigid-frame arch bridge affected by Wenchuan Earthquake
○Zhongqi Shi・Kenji Kosa・Jiandong Zhang・Tatsuo Sasaki

13:15~14:45 橋梁耐震(2)

座長：幸左 賢二（九州工業大学）

- (7-7) 梁フランジ構造が円柱を有する鋼製ラーメン橋脚隅角部の弾塑性挙動に及ぼす影響
木下幸治・○鈴木達也・梅田和幸
- (7-8) 損傷レベルが異なる矩形断面鋼製橋脚のコンクリート充填修復と耐震性能に関する研究
○嶋口儀之・鈴木森晶・太田樹・青木徹彦
- (7-9) 構造物が非線形化する場合の構造物-杭基礎-地盤システムの動的相互作用効果の検討
○西村俊亮・佐々木義志・高橋良和
- (7-10) 動的解析による既製コンクリート杭を有する既設道路橋基礎の耐震性評価に関する検討
○安藤滋芳・河野哲也・谷本俊輔・西田秀明・星隈順一
- (7-11) 東北地方太平洋沖地震により破断した積層ゴム支承の性能試験
○曾田信雄・山田金喜・木水隆夫・広瀬剛・鈴木基行
- (7-12) 東北地方太平洋沖地震により被災した東部高架橋のゴム支承に関する解析的検討
○山田金喜・曾田信雄・木水隆夫・広瀬剛・名古屋和史・鈴木基行

14:50~15:50 講演会（IABSE 日本支部後援）

「シェルと橋梁に見る軽量構造の歴史と今後の発展」 Mike Schlaich 教授（ベルリン工科大学）

第2日：4月21日（日）

第4会場：西9号館 W933 号室

9:30~10:30 コンクリート構造(1)

座長：佐藤 靖彦（北海道大学）

- (12-1) 軸鉛直方向に圧縮力を作用させたRCはりの補強効果に関する考察
○遠藤典男・丸山健太郎・中村紅実・大上俊之
- (12-2) 鉄筋比が比較的小さい地中RC構造物の地震時損傷評価
○河村精一・白鳥洋平・中村光・上田尚史・佐藤正俊・横畑嘉人
- (12-3) 高弾性セメント材料による耐震補強手法に関する研究
幸左賢二・○尾崎奨太・佐々木達生・小川敦久
- (12-4) 収縮抑制型超速硬鋼繊維補強コンクリートを用いて部分打替えを行った道路橋 RC 床版の性能評価
○子田康弘・松本健一・山岸宏・土屋智史・岩城一郎

10:45~11:45 コンクリート構造(2)

座長：中村 光（名古屋大学）

- (12-5) 複数の鉄筋破断が生じた ASR 実構造物の鉄筋損傷評価
○上原伸郎・幸左賢二・大代武志・山口和成
- (12-6) ASR 供試体の配筋条件下における内部劣化性状
○草野昌夫・幸左賢二・上原伸郎・柴田綾野
- (12-7) 鉄筋が腐食した鉄筋コンクリート床版の押し抜きせん断耐荷機構
○田中泰司・須藤卓哉
- (12-8) 塩害により損傷を受けた鉄筋コンクリート桁の劣化度分析と各種非破壊試験の適用
○本田博幸・下里哲弘・有住康則・砂川章次

13:15~14:45 構造力学・構造工学一般／計算力学・材料力学

座長：水澤 富作（大同大学）／紅露 一寛（新潟大学）

- (1-1) 変位場を規定するハイアラキソリッド要素による平板の自由振動解析
○渡辺力・林正
- (1-2) 実測応力との比較によるローラゲート主桁の応力計算における不確実性の定量化
○塩竈裕三
- (1-3) 石アーチ模型による静的挙動とアーチ輪石の割れのメカニズム
○藤田千尋・山尾敏孝・古賀圭一郎・小倉孟

(1-4) 鋼コンクリート界面の付着強度評価のためのトルク型せん断試験に関する基礎的検討

○山田真幸・斉木功・岩熊哲夫

(1-5) PVDF フィルムセンサによるひび割れ検知に関する研究

○原田隆郎・横山功一・田名部菊次郎

(3-1) 集合体要素を用いた個別要素法による柔性鋼製岸堰堤の抵抗力推定法

○堀口俊行・香月智・田附正文